

北海道建設新聞

北海道建設新聞 2006年(平成18年)12月20日(水曜日)

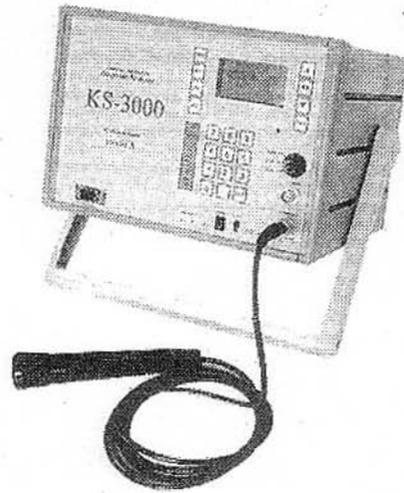
電気設備「KS-3000」
診断システム

高周波で異常個所を検知

産業用動力
機械など モーター部、インバーター部

エイテック

エイテック(本社・京都)は、高周波と呼ばれる特殊な信号を利用し、産業用動力機械などのモーター部、



シリーズ中最も低価格、コンパクト化を実現した「KS-3000」

インバーター部の異常個所を検知する電気設備診断システム「KS-3000」を開発、販売している。機器の劣化兆候を発見し、改善点も提示。パソコン、携帯電話を通じ診断結果を伝え、高いレベルでの予知保全を実現する。

同製品はITを活用した高周波劣化診断システム。同社は「動力設備機械のトラブル要因の多くは、モーターとそれを制御するインバーター部分だ」と指摘。機械に流れる電流はこれらの部位に異常、劣化が生じた場合、高周波が発生するという。

モーターから発生する高周波発生は電気系統、機械系統の2種類が要因として考えられる。インバーターからはすべて電気、電子部分の異常と分析。この信号が電気設備内部のどこから、なぜ出ているのかをAI(人工頭脳)エンジンを搭載したサーバーで、約3万7200件に及ぶデータから科学的に解析する。

測定作業は分電盤内部で行い、機器を運転しながら非接触で実施。診断データはインターネットを通じて同社のサーバーに送信する。設備の内部で発生している異常や劣化兆候、部位程度を探り出す。次いで具体的な整備内容、部品交換時期などを示す。

これらの診断結果は、ユーザーのパソコンに送信、表示される。またWebサーバーを使えば、携帯電話でも伝達可能で、ユビキタス診断での予知保全体制を構築。電気設備の延命で、維持管理コストの削減効果も期待できる。

今回、発売した機種は交流電動機、インバーター専用。これまで販売してきた「KSネットシリーズ」中、最も安価な価格帯とした。利用対象設備は産業用機械、鉄道やエレベーターなどの運輸・輸送機械など。電力会社やガス会社のエネルギー制御施設での汎用も可能で、幅広い普及を目指す。

先月、札幌で開催された「ビジネスEXPO」に出展し、初めて道内でプレゼンテーション。ブースには対象となる多くの企業から来訪を受け、高い関心が寄せられた。

▽問い合わせ先「エイテック」 ☎075(705)6868